

記者発表

【防災情報】 梅雨前線に伴うダム防災情報（第12報）

梅雨前線による降雨・10日間で7月分の降雨量を超える ～洪水対応におけるダムの効果と降雨状況～

北上川ダム統合管理事務所では、7月3日からの梅雨前線に伴う降雨により、長期間にわたり洪水対応を行っています。

御所ダム・湯田ダム流域の10日間の降雨量（**御所ダム390mm、湯田ダム400mm**）は、**過去10年平均での7月1ヶ月分（御所ダム288mm、湯田ダム282mm）を超える雨**が降り注ぎました。（別紙参照）

12日からの洪水対応では、**御所ダムでは約438万 m^3** （岩手県庁約52杯分）、**湯田ダムでは約1,042万 m^3** （岩手県庁約123杯分）の水をダムに貯め込み、下流河川の水位上昇抑制に効果を発揮しました。

○7/3～7/13の梅雨前線の状況

梅雨前線により10日間断続的に降り続いた雨は、御所ダム・湯田ダム流域において、**10日間で過去10年平均の7月1ヶ月分を超える雨量が記録**されました。

- ・御所ダム流域：10日間雨量 **390mm**
過去10年平均 **288mm** ⇒ **約1.4倍を記録**
- ・湯田ダム流域：10日間雨量 **400mm**
過去10年平均 **282mm** ⇒ **約1.4倍を記録**

○御所ダムの洪水貯留効果について

7/12からの洪水対応で、御所ダムで貯めた水の量は**約440万 m^3** となります。ダム下流の**太田橋地点で約0.5mの水位上昇が抑制**されたと推定されます。（北上川ダム統合管理事務所の計算値より）

| | 流域平均 累加雨量 ※1 | 最大流入量 発生日時 | 最大流入量 ※2 | 最大流下量 ※3 | 調節量 ※4 | 貯め込んだ 水の総量 |
|------|--------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 御所ダム | 229 mm | 7月12日 20時00分 | 871 m^3/s | 637 m^3/s | 234 m^3/s | 約438万 m^3 |

- ※1 流域平均累加雨量：7/8 5時から7/13 8時までの速報値
- ※2 最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値
- ※3 最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値
- ※4 調節量：最大流入量と最大流下量の差

○湯田ダムの洪水貯留効果について

7/12からの洪水対応で、湯田ダムで貯めた水の量は**約1,042万m³**となります。
 ダム下流の**瀬畑橋地点で約1.5mの水位上昇が抑制**されたと推定されます。
 (北上川ダム統合管理事務所の計算値より)

| | 流域平均 累加雨量 ※5 | 最大流入量 発生日時 | 最大流入量 ※2 | 最大流下量 ※3 | 調節量 ※4 | 貯め込んだ 水の総量 |
|------|--------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 湯田ダム | 189 mm | 7月12日 18時40分 | 707 m ³ /s | 395 m ³ /s | 312 m ³ /s | 1,042万 m ³ |

- ※5 流域平均累加雨量：7/8 3時から7/13 8時までの速報値

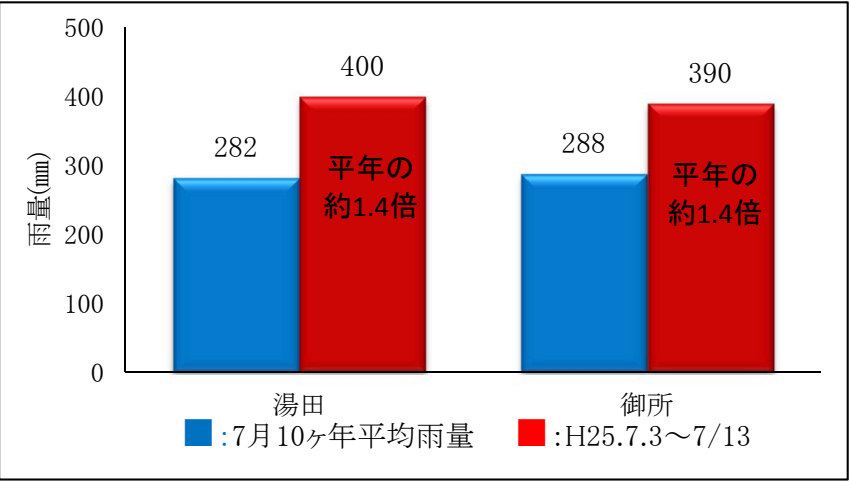
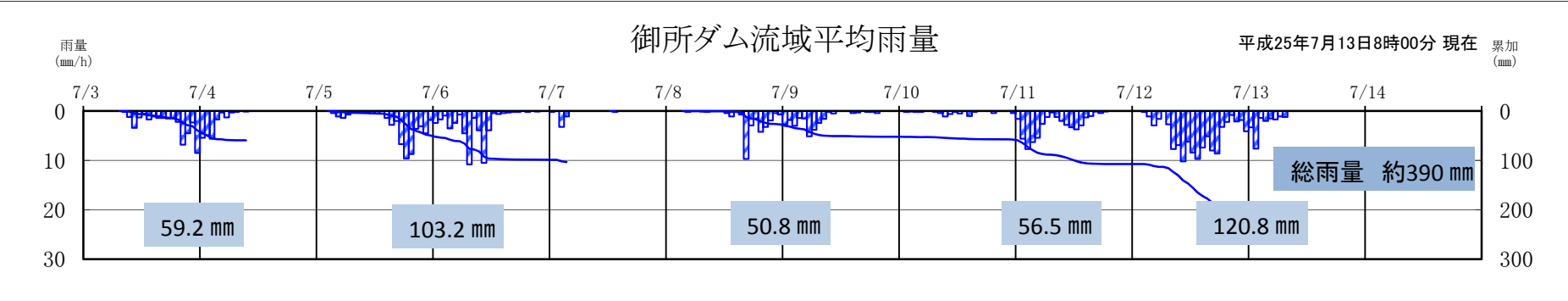
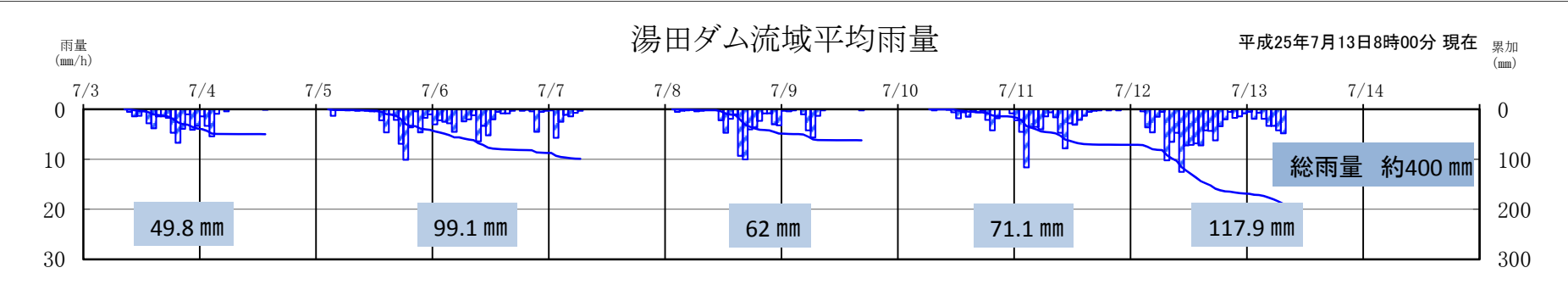
引き続きダムからの放流を行っておりますので、河川の水位等につきまして十分注意をしてください。

※各数値は速報値です。

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。
 ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

発表記者会：岩手県政記者クラブ

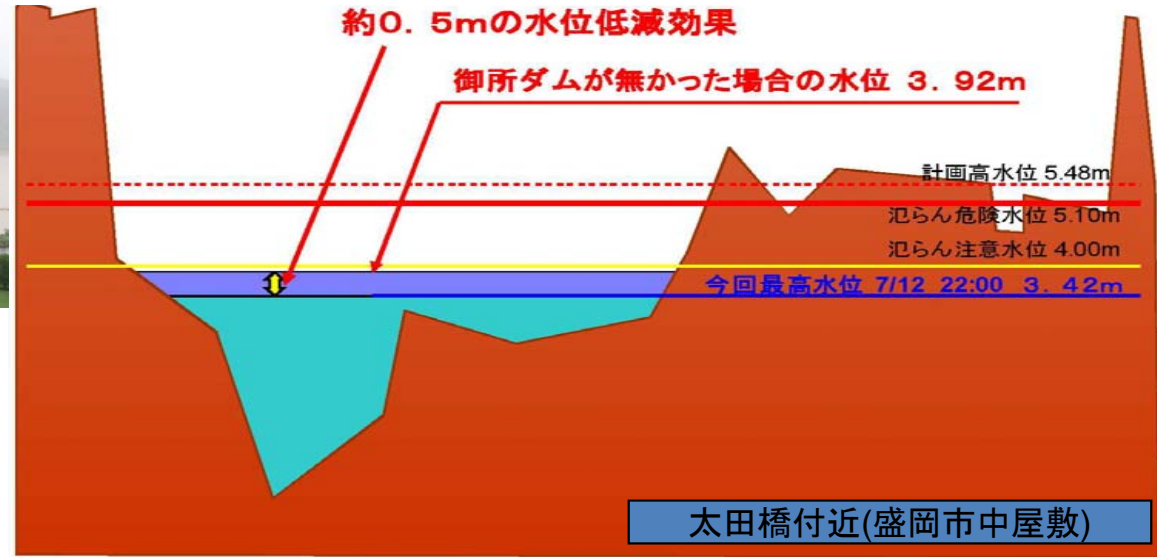
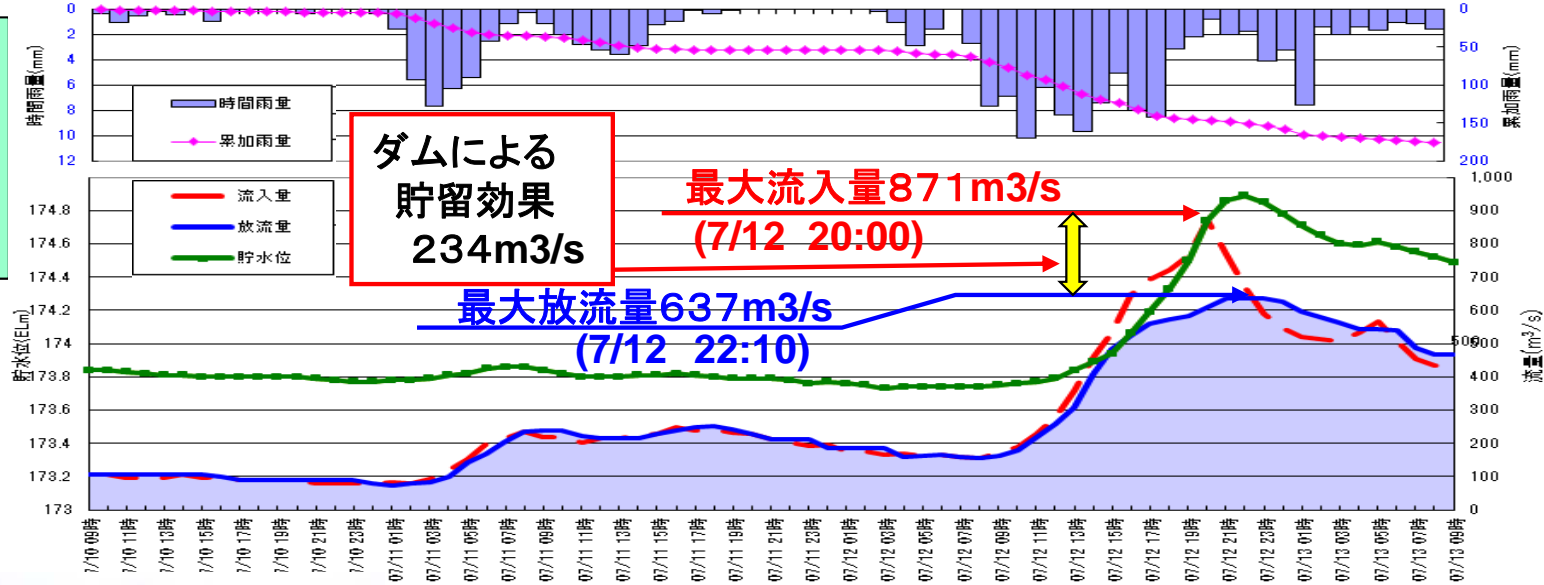
| |
|--|
| 問い合わせ先 |
| 国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 副所長（技術） 高橋 大三 管理第一課長 中島 勇一郎 TEL 019-643-7831（代表） |



北上川水系 御所ダムの効果 (平成25年7月12日 梅雨前線)

- 梅雨前線に伴う降雨で御所ダム流域において、時間最大雨量10mm、累加雨量229mmとなり、ダムへの最大流入量は871m³/sを記録しました。
- ダムにより、最大約438万m³(岩手県庁約52杯分)の水をダムに貯めて、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流の太田橋地点(盛岡市中屋敷)では、約0.5mの水位を低下させる効果があったものと推測されます。

太田橋地点の水位 (7/12 22:00)
 ダム調節後 : 3.42m
 ダムが無い場合 : 3.92m
 →約0.5mの水位低減



ダム貯水池の状況



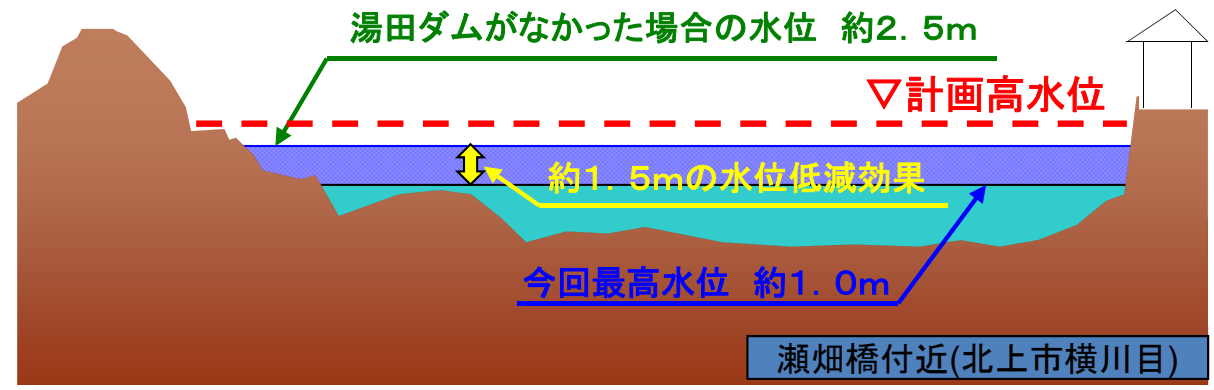
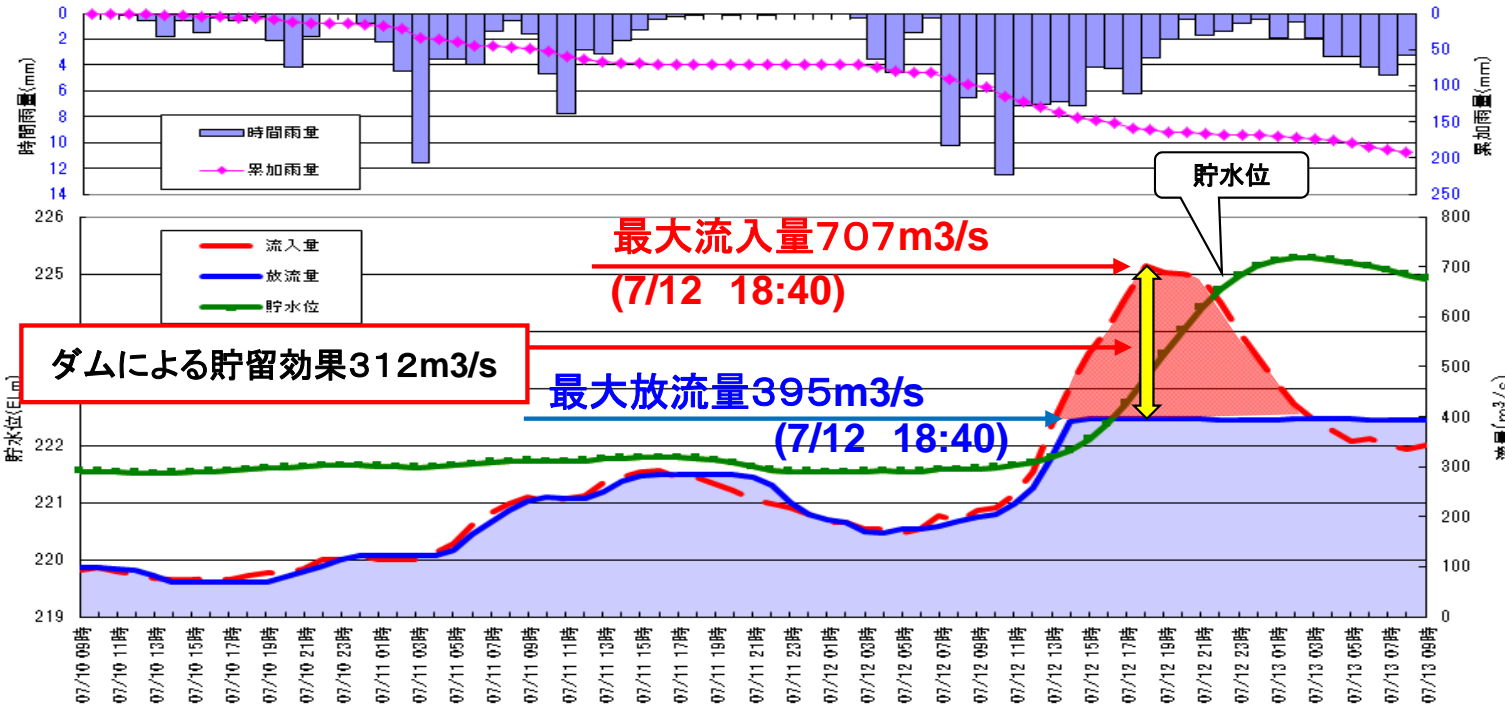
太田橋付近(盛岡市中屋敷)

※水位については、詳細に計算した値ではなく、概算値となっております。

北上川水系 湯田ダムの効果 (平成25年7月12日 梅雨前線)

- 梅雨前線に伴う降雨で湯田ダム上流域において、時間最大雨量12mm、累加雨量189mmとなり、ダムへの最大流入量は707m³/sを記録しました。
- ダムにより、最大約1042万m³(岩手県庁約123杯分)の水をダムに貯めて、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流で流下能力が低い瀬畑橋地点(北上市横川目)では、約1.5mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

瀬畑橋地点の水位(7/12)
 ダム調節後 : 1.00m
 ダムが無い場合 : 2.50m
 →約1.5mの水位低減



ダム下流 瀬畑橋付近 (7/12 16時頃)

※水位については、詳細に計算した値ではなく、概算値となっております。